

第28期 経営倫理士取得講座 《実施概要》

- 1、開講期間 2022年5月～10月（原則として水曜日）
 2、開講時間 講座1回分は2つのコマへ割振り、1コマ当たりの講義時間は1時間10分(70分間)とします。
 ※1コマ目14：30-15：40/20分間の休憩/2コマ目16：00-17：10※
 ◎2022年7月25日事務局より変更連絡：第10回前半コマは差し替える（テーマ・講師とも変更）

| ステージ | 回 | 開催日 | 講師氏名（敬称略） | コマ数 | 講義テーマ | 講義概要 | |
|--------|---------------|--|---------------|---|--|----------------------------------|---|
| 第1ステージ | 経営倫理の基本にチャレンジ | 1 | 2022年5/25 (水) | 開講式（理事長挨拶） | | | |
| | | 2 | 6/1 (水) | 潜道 文子 日本経営倫理士協会 理事長/日本経営倫理学会 会長/拓殖大学副学長・商学部 教授 博士(商学) | ① | 今、なぜ経営倫理なのか | 現代社会において経営倫理が求められる背景および「戦略的倫理性の意義」について検討します。また、経営倫理実践研究センター会長等、様々な活動を通じて経営倫理の研究と普及に尽力された故水谷雅一先生が提唱された「経営価値四原理システム」を考察します。 |
| | | 3 | 6/1 (水) | 浜辺 陽一郎 青山学院大学法学部 教授/弁護士法人早稲田大学リーガル・クリニック 弁護士 | ② | 経営倫理と法務 | 経営倫理と法務との関係を解説。具体的には、経営倫理の要請からコンプライアンスとCSR等が求められていること、企業倫理遵守の必要性、コンプライアンス推進と内部統制システムの関係、会社法（令和元年改正含む）、公益通報者保護法（令和2年改正含む）や独禁法の影響、経営倫理推進の倫理と統制のホント、コンプライアンス経営の技法と内部統制のあり方など。 |
| | | 4 | 6/8 (水) | 水尾 順一 日本経営倫理士協会 理事/駿河台大学名誉教授・博士(経営学)/日本経営倫理学会 常任理事/経営倫理実践研究センター 首席研究員 | ③ | CSRの基本と現代の重点課題 | ①CSRの普遍的価値（4つの責任）と、②現代が抱える様々な重点課題を、企業の取り組み事例なども含めて分かりやすく解説します。 |
| | | 5 | 7/6 (水) | 北村 和敏 日本経営倫理士協会 常務理事・総合企画委員 / 経営倫理士 / ドラッカー学会理事 / 日本経営倫理学会員 | ④ | 経営倫理と人権 | 企業が取り組む人権の基本的考え方は、「めざすのは、笑顔・共感あふれる職場」にあると思います。「目標は社員（職員）、視点には含言葉にその取り組み方法を共に学びます。 |
| | | 6 | 7/6 (水) | 津田 登 日本経営倫理士協会 理事/NTN社外取締役/前三菱ケミカルホールディングス代表取締役副社長執行役員・チーフコンプライアンスオフィサー | ⑤ | 企業人のコンプライアンス | コンプライアンスは「法令遵守」に振された時代から、今日では法令遵守だけでなく、「相手の願いや期待に応える」という意味をもつ言葉としてビジネスの世界に浸透しています。社会の要請に応えていくためには、一歩進んで「相手の身になって考え、行動すること」です。この講座でコンプライアンスの真の意味を理解し、経営倫理士としてこれからの社会での活動に活かして頂きたい。 |
| 第2ステージ | 理論と実務：ビジネス倫理 | 7 | 7/12 (水) | 辻 さちえ 株式会社bizサブリ 代表取締役/公認会計士・公認不正検査士 | ⑥ | 経営倫理と監査 | 経営倫理が問われるような不正・不祥事報道が絶えません。経営倫理なき企業は社会の公器としての企業の役割を果たすことはできず、このような企業に持続的な成長は望めません。このため、経営倫理の浸透は重要な経営課題となります。重要な経営課題であれば、社内でその実施状況を「評価」した上でより改善していくことが必要となります。この講座では経営倫理を評価するにあたっての監査の役割について、特に内部監査の観点から解説します。 |
| | | 8 | 7/20 (水) | 小方 信幸 法政大学大学院政策創造研究科 教授 博士(経営管理) / 日本経営倫理学会 副会長/日本証券アナリスト協会認定アナリスト | ⑦ | 企業不祥事動向の分析と問題点 | 企業不祥事の報道が増えることはない、それぞれの不祥事が生じてそれが公表されるほど大きな問題となるまではその背景や課題があります。他社の失敗事例を知り自社の対応を振り返ることは有効な対応となります。ACBEEでは、毎年不祥事事例ワースト10を発表しているほか四半期ごとに倫理動向調査を実施しています。この調査データを紹介するとともに、調査報告書が公表されている場合にはそれを読み解き事例分析及びそこから見える課題や対応策について解説していきます。 |
| | | 9 | 7/27 (水) | 寺原 真希子 弁護士(日本・ニューヨーク)/弁護士法人 東京表参道法律事務所/ LGBT支援法律家ネットワークメンバー/日弁連(LGBTの権利に関するPT)メンバー | ⑧ | 先進的グローバル企業から共通価値の創造(CSV)を学ぶ | 当講座では、企業が本業を通じて社会価値と経済価値を創造する「共通価値の創造(CSV)」について学びます。具体的には、ネスレのケースから、グローバル企業のCSV実践の取り組みを学びます。また、当事例から、ESG投資家がCSV実践企業に投資する理由を考えます。 |
| | | 10 | 7/27 (水) | 杉野 隆 一般社団法人情報システム学会 名誉会長/国士館大学 前教授 | ⑨ | ESG投資の本質を考える | ESG投資については毎日のように日経新聞などで報じられているものの、その実態と本質はあまり知られていないと考えられます。そこで、当講座では、ESG投資の実態をグローバルな視点で捉え、欧米の社会的責任投資(SRI)の歴史からESG投資の本質を考えます。 |
| | | 11 | 8/3 (水) | 平野 琢 九州大学大学院経済学研究院 講師 博士(工学) | ⑩ | LGBTと企業の対応 | セクシュアリティ・ダイバーシティ(LGBT)の基礎知識、当事者を取り巻く環境、法制度の現状及び課題、訴訟事例について概説した上で、企業対応における視点、留意点及び具体的な取組方法についてケーススタディの形でお話します。 |
| | | 12 | 8/3 (水) | 平野 琢 九州大学大学院経済学研究院 講師 博士(工学) | ⑪ | 企業リスクと情報セキュリティ | 企業経営における情報セキュリティの重要性を確認するとともに、情報セキュリティマネジメント、リスクマネジメント、情報セキュリティガバナンスなどの概念を通して、リスクをコントロールするという点について考えます。 |
| | | 13 | 8/3 (水) | 平野 琢 九州大学大学院経済学研究院 講師 博士(工学) | ⑫ | 産業事故の防止と技術者倫理 ～安全安心の企業経営のために～ | 産業事故は企業経営にとって最大のリスクです。ここでは、そのメカニズムを国内外の事例を交えながら明らかにします。そして、「産業事故を防止するために、何故、技術者倫理が不可欠なのか?」、この点をリスクマネジメントの視点から紐解いていきます。 |
| | | 14 | 8/3 (水) | 平野 琢 九州大学大学院経済学研究院 講師 博士(工学) | ⑬ | 災害事象における企業の防災リスクマネジメント | 自然災害はその発生が予測し難いとともに、発生時の被害が甚大です。この講座ではリスクマネジメントの基礎的なフレームワークを学ぶとともに、実際の成功・失敗事例に基づきながら企業防災におけるリスクマネジメントの最新の課題を学びます。 |
| 第3ステージ | 危機対応力を身につける | 9 | 8/24 (水) | 高野 一彦 日本経営倫理士協会 理事/日本経営倫理学会 常任理事/関西大学 社会安全学部・大学院社会安全研究科 教授 博士(法学) | ⑭ | 経営倫理と情報法コンプライアンス(グループワーク講座) | 現在わが国で発生する「情報セキュリティシニア」諸課題を取り上げます。「情報の利活用と保護に関する法制度を解説するとともに、ケース・メソッドによるディスカッションを通して、合理的な経営判断の基準やコンプライアンス体制を探索します。(後半部で、9月21日に実施予定のクライシス・シミュレーション・トレーニングの事前説明チーム編成を行います。) |
| | | 10 | 8/31 (水) | 佐藤 直人 日本経営倫理士協会 総合企画委員/元エイワファーマ(株) 内部監査室長 | ⑮ | アンコンシャス・バイアスとハラスメント | アンコンシャス・バイアスは「無意識の偏見」と呼ばれ、企業で働き改革を進める上で対策しなければならぬ問題です。また、ハラスメントを引き起こす根拠にアンコンシャス・バイアスがあることが知られています。自覚的に適切に対処することで組織の持続的な成長や業績向上につながる土壌が形成されます。 |
| | | 11 | 9/7 (水) | 野中 高広 モリソン・フォスター法律事務所 パートナー弁護士/一橋大学大学院法学研究科(ビジネスロー) 非常勤講師 | ⑯ | ハラスメントによる企業リスクの増大 | 法制度が明確になったこともあり、ハラスメントに関する関心は高まっており、その状況は、コロナ禍によりオンライン化が進んでも変わりません。パワハラ、セクハラ、タハラ、リモハラなどと言われるものに加え、顧客からのハラスメント(カスハラ)といった問題も議論されています。企業として、どのように対応していくかにつき悩みを抱える企業が多いのも現状です。本講義では、ハラスメント事例を多数取り扱い、内部調査、当局対応や裁判におけるディフェンス等を担ってきた講師とともに、各種具体的なケースの検討を通じて、より実践的な解決手法に迫ります。 |
| | | 12 | 9/7 (水) | 名取 はにわ 学校法人日本社会事業大学 理事長/元 内閣府男女共同参画局長 | ⑰ | ダイバーシティ経営と女性活躍 | ダイバーシティには様々な意味がありますが、ここでは、人口の半分以上を占める女性が、日本でもっと活躍できるようにするにはどうしたらいいか考えます。男女共同参画社会基本法、これを踏まえた女性活躍推進法の制定により、ワークライフ・バランス、再立支援策、ポジティブ・アクション等を進める会社が社会的にも評価されるようになってきています。 |
| | | 13 | 9/14 (水) | 千賀 瑛一 日本経営倫理士協会 専務理事 | ⑱ | 経営倫理士講座のまとめ | 「経営倫理士」の主要な役割は企業・組織の「リスク・コンサルタント」。多様なリスク・危機管理の諸テーマを総合的にマネジメントし、経営倫理実践の推進的役割を担う人材を育成します。 |
| | | 14 | 9/14 (水) | 千賀 瑛一 日本経営倫理士協会 専務理事 | ⑲ | オンライン試験/「学科」および「レポート」 | ※(注) 試験実施は15：00～17：30 |
| 15 | 9/21 (水) | 高野 一彦 日本経営倫理士協会 理事/日本経営倫理学会 常任理事/関西大学 社会安全学部・大学院社会安全研究科 教授 博士(法学) | ⑳ | クライシス・シミュレーション・トレーニング | 企業における事件や事故をテーマに、前提シナリオをもとに役割を決め、各立場に応じたクライシス対応を体験するトレーニングです。初期対応(Phase1)から始まり、緊急危機対応本部(Phase2)、記者会見準備(Phase3)、模擬記者会見(Phase4)の一連のクライシス対応を、ロールプレイを行います。(8月24日の講義で前提シナリオをお渡しし、シナリオに登場する架空の企業の役員としてチーム分けを行います。) | | |
| | 10/1 (土) | 面接試験 | | | オンライン | | |
| | 10/12 (水) | 修了式・認定書授与式 | | | オンライン | | |